



I 上芝古墳発掘



昭和4年2月、群馬県群馬県群馬村（現在の群馬県群馬県群馬町）大字上芝で、馬金造営中に数本の円筒形土管が発掘された。当時、其輪城の調査で同町に滞在中であった考古学者の板島武雄は、現地に着き、この土管を調べて発掘調査を行う。

発掘された円筒形土管は、群馬県上芝の神社境内にあり、馬金造営中に発見された。この土管は、上芝の神社境内にあり、馬金造営中に発見された。この土管は、上芝の神社境内にあり、馬金造営中に発見された。

目次

I	上芝古墳発掘	1
II	帆立貝形古墳ってなに???	11
II-1	副葬品を観る。	17
II-2	土輪を観る。	29
II-3	マツリ道具を観る。	42
IV	帆立貝形の経緯	51
付録	「群馬県内の帆立貝形古墳について」 長井正秋（毛野考古学研究所）	57
	「群馬県にみる帆立貝形古墳」 石島和夫（前）群馬県歴史文化調査委員会	63
	「石輪城造形からみた古代祭祀の展開」	
	藤原祐一（前）とらぎ考古学文化事業団歴史文化センター	68
	参考文献	83
	協力者・協力機関	85
	読後のひととき	85



● 発見された土管（群馬県上芝の神社境内にあり、馬金造営中に発見された。この土管は、上芝の神社境内にあり、馬金造営中に発見された。）

● 昭和4年当時の調査風景（群馬県上芝の神社境内にあり、馬金造営中に発見された。この土管は、上芝の神社境内にあり、馬金造営中に発見された。）



図1 上芝古墳の位置

行の人類学部が、この土管の調査を行った。この土管は、上芝の神社境内にあり、馬金造営中に発見された。この土管は、上芝の神社境内にあり、馬金造営中に発見された。

「此古墳の形状の如きものに就ては、未だ多く疑く所なく。」

この調査の結果、この土管は、上芝の神社境内にあり、馬金造営中に発見された。この土管は、上芝の神社境内にあり、馬金造営中に発見された。

人物（上）：馬金造営

人物（下）：馬金造営

人物（上）：馬金造営

人物（下）：馬金造営

人物（上）：馬金造営

人物（下）：馬金造営

人物（上）：馬金造営

人物（下）：馬金造営

人物（上）：馬金造営

人物（下）：馬金造営

人物（上）：馬金造営

人物（下）：馬金造営

人物（上）：馬金造営

人物（下）：馬金造営

人物（上）：馬金造営

人物（下）：馬金造営

人物（上）：馬金造営

人物（下）：馬金造営

人物（上）：馬金造営

人物（下）：馬金造営

人物（上）：馬金造営

人物（下）：馬金造営

人物（上）：馬金造営

人物（下）：馬金造営

人物（上）：馬金造営

人物（下）：馬金造営

人物（上）：馬金造営

人物（下）：馬金造営

人物（上）：馬金造営

人物（下）：馬金造営

人物（上）：馬金造営

人物（下）：馬金造営

人物（上）：馬金造営

人物（下）：馬金造営

人物（上）：馬金造営

人物（下）：馬金造営